

## 新しく仲間入りをした新弟子を紹介します。

井口 柚輝  
いぐち ゆずき

この度、四月に入社した、天竜高校出身の井口柚輝と申します。よろしくお願ひいたします。



天竜高校では建築学科に在籍しておりましたが、座学が中心で、実際の技術やものづくりに関する知識・経験はまだ十分ではありません。

ですが、第一の目標である

「信頼される大工」を目指し、日々基礎から努力を重ねてまいります。

継続力が自分の長所だと考えておりますので、まだノミ研ぎやノコギリの扱いも未熟ではありますが、地道な努力を積み重ね、現場で活躍できる大工へと成長していきたいです。道具の名前や使い方など、分からないことばかりではありますが、何事にも全力で取り組んでまいります。今後ともご指導のほど、よろしくお願ひいたします。

沖山 暖和  
おきやま なるかず

このたび天峰建設で大工の修業をすることとなりました、沖山暖和です。



両祖父が、宮大工と建具職人に従事していたこともあり、幼少の頃より職人に強い憧れがあり、中学生のころに大工職を志しました。

建築系の工業高校を卒業後、佐渡島にある専門学校で伝統的な建築技術に触れ、堂宮大工の職に一層の魅力を感じ天峰建設の門を叩きました。

もともと鋸や鑿などの日本の大工道具が好きで、探求のために全国の大工さんや鍛冶屋さんと交流する機会が多く、そのなかで天峰建設の名を知ることとなりました。今後、多くのことに挑戦し、学び、研究し伝統建築の技能を継承できると精進していきます。これからはよろしくお願ひいたします。

上沢 愉津貴  
かみさわ ゆずき

私は将来、一人前の大工として多くの人に信頼される職人になることを目標としています。大工という仕事は、ただ建物を作るだけでなく、人の暮らしを支え、長く残るものを形にする責任ある仕事だと考えています。



その分、技術だけでなく、丁寧さや忍耐力、そして向上心が必要だと感じていきます。

これからは、基礎からしっかりと技術を身につけ、先輩方の仕事を見て学び、自分の力にしていきたいです。最初はうまくいかないことも多いと思いますが、失敗を恐れず、一つひとつの経験を大切にしながら成長していきます。

また、周囲への感謝や礼儀を忘れず、現場で信頼される人間になることも目標です。将来的には、自分が手がけた仕事を胸を張って誇れるような大工になれるよう、日々努力を積み重ねていきます。